

# オレンジネットワークとっとり リレー講演会

図書館を活用し！  
ネットワークを広げて！！  
認知症の人や  
高齢者にやさしい  
地域づくりを!!!

鳥取県立図書館が実施してきた音読は認知症予防に効果があると実証されています。その音読をさらに広め、認知症の人や高齢者にやさしい地域づくりのために、医師、認知症当事者、「認知症の人と家族の会」代表者の講演会等を県内3カ所で開催します。



入場無料  
申込不要

手話通訳あり

## 第1走者 東部会場

日時 平成30年 **7月1日(日)**  
午後1時から3時まで

会場 **鳥取県立図書館**  
大研修室 (2階)

講演 **「認知症の最新情報」** 講師 **浦上克哉氏** (鳥取大学医学部教授)

対談 **「認知症になってもだいじょうぶ! そんな社会を創っていきましょうよ」**

講師 **浦上克哉氏** (鳥取大学医学部教授)

**藤田和子氏** (一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ代表理事、  
著書:『認知症になってもだいじょうぶ! そんな社会を創っていきましょうよ』2017)

取組報告 **「音読教室から見る図書館における高齢者サービス」**

**田村晴夫氏** (鳥取市立中央図書館 館長)

**オレンジ カフェ** (詳細は裏面参照)



浦上克哉氏



藤田和子氏

## 第2走者 中部会場

日時 平成30年 **9月9日(日)** 午後1時から3時まで

会場 **倉吉交流プラザ** 第1研修室 (2階)

講演 **「元気な今から認知症予防  
～正しい理解と実践～」**

講師 **吉野 立氏** (認知症の人と家族の会鳥取県支部代表)

ゲストトーク **「短歌の愉しみ」**

ゲスト **池本一郎氏**  
(平成29年度鳥取県文化功労賞受賞:短歌)  
**本間温子氏**  
(元みささ図書館職員、歌集:『書架をへだてて』2017)

取組報告 **倉吉市立図書館**

短歌・俳句等も  
認知症予防に効果が  
期待できます!

「認知症&もの忘れは  
これで9割防げる!!」  
浦上克哉/著

## 西部会場 第3走者

日時 平成30年 **10月6日(土)** 午後1時から3時まで

会場 **米子市立図書館** 多目的研修室 (2階)

講演 **「あなたの地域を  
認知症フレンドリーコミュニティへ  
～認知症の人にやさしいまちづくり～」**

講師 **吉野 立氏** (認知症の人と家族の会鳥取県支部代表)

取組報告 **米子市立図書館、鳥取県立図書館**



●主催 **鳥取県立図書館** 〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101  
電話番号●0857-26-8155 ファックス番号●0857-22-2996  
電子メール●toshokan@pref.tottori.lg.jp ホームページ●http://www.library.pref.tottori.jp/

●共催 鳥取市立図書館 倉吉市教育委員会 米子市立図書館 ●協力 認知症の人と家族の会 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長寿社会課

# 第1走者 東部会場



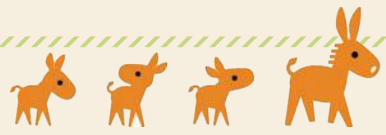
**日時** 平成30年7月1日(日) 午後1時から3時まで

**会場** 鳥取県立図書館 大研修室(2階)



**講演** 「認知症の最新情報」

**講師** 浦上克哉氏 (鳥取大学医学部教授)



**対談** 「認知症になってもだいじょうぶ! そんな社会を創っていきましょう」

**講師** 浦上克哉氏 (鳥取大学医学部教授)  
藤田和子氏 (一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ代表理事)



**取組報告** 「音読教室から見る図書館における高齢者サービス」

**田村晴夫氏** (鳥取市立中央図書館 館長)

**参考** 【認知症カフェ】

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場



**オレンジカフェ** (正午から午後1時まで 県立図書館・とりぎん文化会館中庭ゾーン)

**運営** オレンジカフェめぐむ (認知症の人と家族の会 鳥取県支部)

12:00 13:00 14:20 14:30 14:45 15:00

日程	オレンジカフェ (中庭)	挨拶	講演	対談	休憩	質疑応答	鳥取市立図書館取組報告

うら かみ かつ や  
**浦上克哉**

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座  
環境保健学分野・教授

岡山市生まれ。1983年鳥取大学医学部卒業後、神経内科を専門に携わり2001年より鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野 教授を務める。日本認知症予防学会理事長、日本老年精神医学会理事、日本認知症学会専門医。アルツハイマー型認知症および関連疾患を専門とし、診断マーカーの開発研究、外来での診察と治療、予防、ケアなど総合的に認知症と取り組む。また、認知症早期発見のためのタッチパネル式コンピューター「物忘れ相談プログラム」などの機器の開発、アロマによる認知症の予防効果の研究、NHK「あさイチ」「チョイス」「きょうの健康」、「たけしの家庭の医学」、「主治医が見つかる診療所」等テレビにも多数出演し、幅広く精力的に啓発活動を行っている。著書多数。近著に『認知症&もの忘れはこれで9割防げる!』(三笠書房、2017年)『運転を続けるための認知症予防』(JAFメディアワークス、2018年)。

ふじ た かず こ  
**藤田和子**

一般社団法人日本認知症本人  
ワーキンググループ 代表理事

1961年生まれ。鳥取市で看護師として、総合病院に7年、個人病院に8年勤務。2007年、45歳で若年性アルツハイマー病と診断される。2010年、「若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー」を設立。(2014年にNPO法人化、現在副理事長)2011～2013年、鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり協議会委員。2014年10月、日本認知症ワーキンググループ設立に参加し、共同代表を務める。2017年9年、一般社団法人化し、現職。著書に、『認知症になってもだいじょうぶ!そんな社会を創っていきましょう』(徳間書店、2017年)。